



稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年（1963年）12月6日 会長：小島洋一／副会長：眞下啓二
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：高桑宏幸／編集：広報会報委員会
 例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail rcinazawa@gmail.com
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1（林商事ビル1階）
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-89-0265 事務局携帯電話 090-4853-5262



インスピレーションになる

2018-19 R I 会長
ハリ・ラシ 氏

稲沢 RC2018-19 年度会長方針
「ともに前へ」
ローラーを考え、楽しく実践しよう

本日の例会プログラム 第2675回例会 12月1日（土）
例会場：ホテルナゴヤキャッスル クリスマス家族会

第2674例会報告 11月28日(水)晴れ No.20

☆点 鐘 ☆	会長 小島洋一
☆司 会 ☆	会場委員長 山本敏裕
☆唱 和 ☆	四つのテスト
☆ビジター ☆	足立誠君（一宮）
☆会長挨拶 ☆	会長 小島洋一



本日のお客様の紹介をさせていただきます。一宮ロータリークラブ 足立誠君です。いつもありがとうございます。

今朝、朝刊の尾張版を見ていたら一宮市の中野市長と一宮RCの榊原会長の写真が目に入ってきました。その記事は一宮駅の駅前広場にソーラー電波時計とベンチを寄贈するというので、地区補助金を活用して250万円の事業費で設置したとのことでした。改めてクラブによって様々な補助金活用の事業が展開されているなと感じました。

今日の例会は、今月がロータリー財団月間ということもあり、地区のポリオプラス／職業研修委員会に出向している永井伸治会員に「ロータリー財団、いま、やるべきこと」と題して卓話をしてもらいます。これを機に当クラブでも地区補助金の活用の仕方や、事業の可能性を見直していく必要があるのではと感じています。時流に乗り遅れないよう、議論もしながら進めていければと思いますのでよろしくお願いいたします。

◇ ◇ ニコボックス報告 ◇ ◇ 報告者：ニコボックス委員長 新井仁志

足立誠君（一宮） 前回の例会で小島会長に愛情のこもったご紹介を頂いて

小島・眞下・高桑 アシュリーさん、稲沢ロータリークラブへようこそ！

吉川・加藤(太) カウラ留学生のアシュリーさんをお迎えした喜び

小島 永井さん、今日は卓話よろしくお願ひします。

成田 すべて永井君にお任せでごめんなさい

永井 本日、卓話スピーカーを務めます。宜しくお願ひします。

小島 高桑幹事・鶴飼副幹事分区の会長幹事会への出席ありがとうございます。

鶴飼(正) 最後の美術展、来年2月19日より開催します。多くの皆様の出展をお願いします。

林(茂夫) 国府宮様にお世話に成り

林(茂一) ロータリーゴルフコンペにて優勝させていただき、また馬券もいただきありがとうございます。次回も頑張ります。

鶴飼(正) 出席表彰をいただいて

鶴飼(正) ホームクラブ欠席のお詫びと本日の早退のお詫び

加藤(健)・鶴飼(博) 早退のお詫び

★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 服部孝徳

会員総数	47名	前々回修正	11月7日
出席	34名	出席	33名
会員数	(内免除6名)	会員数	(内免除者4名)
欠席者数	13名	マークアップ数	6名
	(内免除3名)		
出席率	77.27%	修正出席率	92.86%

☆例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	マークアップ会場
津島	12/14(金)12:30	ツシマウール会館
尾西	12/17(月)12:30	尾西信用金庫
あま	12/17(月)12:30	名鉄グランドホテル
名古屋城北	12/18(火)12:30	名古屋栄東急 REI ホテル

今週のマークアップ 鈴木雅博・鶴飼正巳・永井伸治 (D2760) 鈴木杏奈 (名古屋名南) 池田邦雄 (名古屋北) 山田典永 (名古屋空港)

☆例会日程☆

12月5日(水)	12月12日(水)12:30	12月19日(水)12:30	12月26日(水)
例会日変更 (1日へ振替)	幸福例会 会員表彰 第6回理事会 (13:30)	年次総会 次年度理事会構成員選出総会	休会 (定款8-1)

◇テーマ:「ロータリー財団 今、やるべきこと」～寄付金を活用しましょう～◇

スピーカー: 社会奉仕委員長・地区ロータリー財団 ポリオプラス / VTT 委員会 委員 永井伸治会員

ロータリーでなぜ寄付金が必要かと言うと、それはロータリアン自身の真のロータリー活動のためにあります。

“Doing Good in the World!” 「世界で良いことをしよう」の合言葉に世界のロータリアンが未来の夢計画に添ってシェアできるシステムです。

本年度の寄付目標は、年次基金寄付が一人当たり 150 ドルで、これは 3 年後に戻ってくる奉仕プロジェクトへの積立金です。使途指定ポリオプラス基金への寄付が一人当たり 30 ドル、世界で年間 5,000 万ドルを集める計画です。そして、恒久基金(新ベネファクター1,000 ドル寄付)はクラブに 1 人以上となっています。

さて、ポリオとは一体どういう病気でしょうか。改めておさらいしましょう。

ポリオは日本名「急性灰白髄炎」、一般名「脊髄性小児麻痺」のことで有効な治療法はありませんが、ワクチン接種による予防のみが有効とされています。ワクチンの開発では、ジョナス・ソーク博士が 1955 年に不活化ワクチンを、アルバート・セービン博士が 1955 年から 1960 年に経口生ワクチンの大規模治験を治めています。両博士は、「太陽は私のものではなく皆のものです。ポリオワクチンも私のものではなく世界の子供たちのものです。」と言って開発したワクチンに特許を申請しませんでした。このことによって、ワクチンが世界に早く広がったと言えます。

ロータリーは 1979 年にポリオ撲滅の取り組みを開始しました。天然痘が撲滅されたことを知った当時のクレム・レヌーフ RI 会長が、新しいロータリーの人道的補助金プログラムを使って同規模の目標に挑むことを考えたのです。ロータリーがポリオ撲滅プログラムを立ち上げ、世界中の子どもにポリオの予防接種を実施することを勧めました。世界のほぼすべての国にロータリークラブがあり、当時 100 万人ほどの会員がいましたから、ロータリーほど、何百万人もの子どもへの経口ポリオワクチン投与を効果的に支援できる組織はないと考えたのです。1988 年には世界で 35 万症例の発症があり、撲滅には程遠い状況でしたが、ロータリーのポリオ撲滅活動は驚異的な進展を見せ、10 年後の 1998 年には 6,200 症例、さらにその 10 年後の 2008 年には 1,600 症例、そして本年 10 月末現在ではアフガニスタンとパキスタンで 22 症例にまで減少しました。アフガニスタン、パキスタン両国はイスラム教国であり、武装勢力パキスタン・タリバン運動は武力で女性に教育を受けさせない為、ワクチン投与に対する啓発も遅れているそうです。マララ・ユスフザイさんも銃弾の被害者になりました。

ロータリーの寄付金は世界各地で良いことに使われています。また、それを支えるためにキャンペーンや奉仕活動も多く行われています。

稲沢 RC は、創立 55 周年記念事業として本年 9 月 23 日にリーフウォーク稲沢に於いて、ロータリー財団地区補助金活用事業「イナザワフード+ふれ愛フェスタ (IFF)」を開催しました。これもそのうちのひとつとして挙げられます。当地区でも同様、10 月 27 日、28 日の「ワールドフード+ふれ愛フェスタ (WFF)」が盛況に開催できました。27 日にはエンドポリオ大使のジュディ・オングさんも来場されました。夜には「エンドポリオナイト」が開催され、RI 第 3271 地区 (パキスタン) のパストガバナー Faiz さんにも

お越しいただきました。ほかにフィリピンから約 40 名のロータリアンとその家族をはじめ、インド、インドネシア、ネパールからも大勢のゲストの来場がありました。二日間の募金総額は 110 万円を超えました。これらは新興国への援助に使われます。ポリオ撲滅まで『あと少し』となりました。引き続きよろしくお願ひします。一方、職業研修チームは“Vocational Training Team”略して“VTT”として日本の職業専門家チームを海外に派遣し、また、海外からの職業専門家チームを日本に招聘して相互に技術研修する事業です。国際ロータリーのグローバル補助金を利用して過去 8 年間に渡り行っております。最初の 3 年間は、当地区が国際ロータリーのパイロット地区として指定され先進国と試行的に行いました。2013/14 年度からは新興国との相互交換を行い、想定以上の成果を上げています。本年度は下半期に、RI3300 地区マレーシア・クアラルンプールの総合病院にて院内感染予防についての研修を行う予定です。これまでは重点 6 分野の内「疾病予防と治療」を掲げ、医療の分野で事業を展開してきましたが、次年度は RI3360 地区タイ・チェンマイで「経済と地域社会の発展」を掲げ、有機栽培を中心とした農業の分野で事業展開する予定です。

◇カウラ高校留学生アシュリーさんをお迎えして◇
国際奉仕委員長 吉川貴裕

2018 年 11 月 27 日(火)～28 日(水)今年度カウラ高校から成蹊高等学校へ交換留学しているアシュリーさんを稲沢へお迎えしました。

27 日は、加藤太平会員に犬山城を案内していただき、着物の体験もしていただきました。

宿泊も加藤太平会員宅にお世話になりました。

28 日は午前中、祖父江いちょう黄葉まつりを見学し、例会へ出席していただきました。

ダンスが得意で、成蹊高校のダンス部でも活動されているなど、日本の学校での楽しい生活をお話してくれました。

